



# 2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)



2025年8月8日

上場会社名 リスクモンスター株式会社  
コード番号 3768 URL <https://www.riskmonster.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 太一  
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長 (氏名) 吉田 麻紀  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-6214-0331

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	917	5.6	63	358.9	73	252.0	43	
2025年3月期第1四半期	868	1.0	13	73.3	20	60.3	2	88.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 158百万円 (115.1%) 2025年3月期第1四半期 73百万円 (60.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	5.83	5.83
2025年3月期第1四半期	0.39	0.39

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	7,059	6,030	84.0	794.30
2025年3月期	7,139	5,982	82.4	788.06

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 5,928百万円 2025年3月期 5,881百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期		0.00		15.00	15.00
2026年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,900	4.6	380	43.9	380	31.1	210		27.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	7,636,922 株	2025年3月期	7,636,922 株
期末自己株式数	2026年3月期1Q	173,268 株	2025年3月期	173,268 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	7,463,654 株	2025年3月期1Q	7,357,654 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.7「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	8
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	10
四半期連結損益計算書 .....	10
四半期連結包括利益計算書 .....	11
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	13
3. 補足情報 .....	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、インバウンド需要や雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調にあるものの、物価高や米国における関税政策の影響等から、先行きは依然として不透明な状況で推移しており、今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは、事業を取り巻く厳しい環境を踏まえ2021年度にスタートした長期ビジョン「RismonG-30」、その達成に向けたマイルストーンである「第8次中期経営計画（2024～2025年度）」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・「RM登記簿調査レポート」提供開始（4月）
- ・4月4日「リスモン与信の日」制定（4月）
- ・M&A仲介を手掛ける株式会社fundbookが中小企業庁「中小M&Aガイドライン（第3版）」に対応した「リスモンA I 与信管理PDF」を利用開始（4月）
- ・「反社チェック個人検索」機能提供開始（4月）
- ・「リスモン業種別審査ノート」Webアプリ版提供開始（5月）
- ・「下請法」改正や「フリーランス法」に対応したeラーニングコース提供開始（6月）
- ・前年と同額の1株当たり15円の配当を実施（6月）
- ・当第1四半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
  - 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」調査結果（4月）
  - 「賃金引上げに関するアンケート」調査結果（5月）
  - 「就職したい企業・業種ランキング」調査結果（5月）
  - 「中国企業の倒産～日本企業と比較～」レポート（5月）
  - 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」調査結果（6月）
- ・当第1四半期連結累計期間に発表したリスモン業界レポート
  - 「設備工事業」（4月）
  - 「職別工事業（設備工事業を除く）」（5月）
  - 「不動産取引業」（6月）

<連結業績について>

当第1四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		前年 同期比 (%)
	売上高 (千円)	対売上比 (%)	売上高 (千円)	対売上比 (%)	
売上高 (千円)	868,886	100.0	917,460	100.0	105.6
営業利益 (千円)	13,772	1.6	63,198	6.9	458.9
経常利益 (千円)	20,811	2.4	73,267	8.0	352.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	2,840	0.3	43,550	4.7	—

	前第1四半期 連結会計期末	当第1四半期 連結会計期末	増減数
会員数合計 (注)	14,097	14,501	404

(注) 会員数は登録されているID数

なお、上記においては当社グループの各サービスに重複登録している会員が一部おります。

（売上高）

与信管理サービス事業、ビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）及びBPOサービス事業が堅調に推移したことに伴い、連結の売上高は917,460千円（前年同期比105.6%）となりました。

（利益）

主に売上高が増加したこと、与信管理サービス事業において固定費が圧縮され利益率が改善したこと等から、営業利益は63,198千円（前年同期比458.9%）、経常利益は73,267千円（前年同期比352.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は43,550千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,840千円）となりました。

（会員数合計）

会員数は14,501会員と増加しました。

＜セグメント別の業績について＞

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

当社グループのセグメントを、1. 法人会員向けビジネスと2. その他ビジネスに分類した場合の業績は、以下のとおりであります。

1. 法人会員向けビジネス

法人会員向けビジネスに含まれるセグメントは、ア) 与信管理サービス事業、イ) ビジネスポータルサイト事業及び ウ) 教育関連事業であります。

法人会員向けビジネスの業績は、次のとおりであります。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
法人会員向けビジネス売上高合計（千円）	657,151	669,313	101.9
法人会員向けビジネス利益合計（千円）	85,595	118,154	138.0

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
法人会員向けビジネス会員数合計	13,618	13,985	367

法人会員向けビジネスの各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

ア) 与信管理サービス事業について

与信管理サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス（千円）	380,605	394,671	103.7
コンサルティングサービス（千円）	71,407	74,540	104.4
売上高合計（千円）	452,013	469,212	103.8
セグメント利益（千円）	23,861	71,156	298.2

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
与信管理サービス（注）	7,621	7,918	297

（注）サービス相互提携を行う会員を含む

当第1四半期連結累計期間の与信管理サービス事業の売上高の合計は469,212千円（前年同期比103.8%）、セグメント利益は71,156千円（前年同期比298.2%）となりました。

会員数は増加し、また、与信判断ツール「e-与信ナビ」の利用が順調だったこと等から増収となりました。

セグメント利益は、売上高が増加したこと、サービスシステム増強及び独自データベースの充実を図るため企業情報取得の強化を継続しているものの、前期末に今後の使用見込みがなくなった固定資産を除却し固定費が圧縮されたこと、その他のコストも抑えられていることから前年同期を上回りました。

イ) ビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）について

ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス（千円）	140,315	145,389	103.6
その他（千円）	8,485	8,380	98.8
売上高合計（千円）	148,801	153,770	103.3
セグメント利益（千円）	52,680	44,924	85.3

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
ビジネスポータルサイト （グループウェアサービス等）（注）	3,054 (145,842)	3,049 (146,917)	△5 (1,075)

（注）（ ）は外数でユーザー数

当第1四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）の売上高の合計は153,770千円（前年同期比103.3%）、セグメント利益は44,924千円（前年同期比85.3%）となりました。

5月に実施した料金改定に伴い基本料金及びユーザー利用料が増加し増収となりましたが、サービス増強費用や仕入原価の増加によりセグメント利益は前年同期を下回りました。

ウ) 教育関連事業について

教育関連の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
教育関連売上高合計（千円）	56,336	46,330	82.2
セグメント利益（千円）	9,054	2,073	22.9

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
教育関連	2,943	3,018	75

当第1四半期連結累計期間の教育関連事業は、売上高は46,330千円（前年同期比82.2%）、セグメント利益は2,073千円（前年同期比22.9%）となりました。会員数は増加したものの、定額制サービスやお客様の個別のニーズに合わせてカスタマイズするサービスが低調だったことに伴い、売上高、セグメント利益ともに前年同期を下回りました。

2. その他ビジネス

その他ビジネスに含まれるセグメントは、エ) BPOサービス事業及びオ) その他サービスであります。

その他ビジネスの業績は、次のとおりであります。なお、中国における与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は、516会員となりました。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他ビジネス売上高合計（千円）	308,895	337,680	109.3
その他ビジネス利益又は損失（△）合計（千円）	△9,109	3,250	—

その他ビジネスの各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

エ) BPOサービス事業について

BPOサービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
BPOサービス売上高合計（千円）	229,883	265,471	115.5
セグメント利益又は損失（△）（千円）	△3,783	10,316	—

当第1四半期連結累計期間のBPOサービス事業の売上高は265,471千円（前年同期比115.5%）、セグメント利益は10,316千円（前年同期はセグメント損失3,783千円）となりました。

新規の案件が積み上がったこと等から、増収増益となりました。

オ) その他サービスについて

その他サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他サービス売上高合計（千円）	79,011	72,208	91.4
セグメント損失（△）（千円）	△5,326	△7,065	—

当第1四半期連結累計期間のその他サービスの売上高は72,208千円（前年同期比91.4%）、セグメント損失は7,065千円（前年同期はセグメント損失5,326千円）となりました。

グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）は、中国における信用調査レポート及びグループのコスト削減を担うオフショア開発の売上高は中国元ベースでは前年同期並みで推移しておりますが、前期に比べ円高で進行しているため、日本円ベースでは減収減益となりました。また、中国における信用調査レポートの受注残が積み上がっており、順次納品し解消される見通しとなっております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

		前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減額
	流動資産（千円）	2,567,213	2,259,264	△307,948
	固定資産（千円）	4,572,049	4,799,760	227,711
資産合計（千円）		7,139,262	7,059,025	△80,237
	流動負債（千円）	859,188	670,376	△188,812
	固定負債（千円）	297,898	358,588	60,690
負債合計（千円）		1,157,086	1,028,964	△128,121
純資産（千円）		5,982,175	6,030,060	47,884
負債純資産合計（千円）		7,139,262	7,059,025	△80,237

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は前連結会計年度末と比べ307,948千円減少し、2,259,264千円となりました。これは主に、供託金の返還に伴い差入保証金が減少し現預金が増加したものの、未払金及び配当金の支払い、短期借入金の返済等があったこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ227,711千円増加し、4,799,760千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価及び無形固定資産の増加等によるものです。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ80,237千円減少し、7,059,025千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ188,812千円減少し、670,376千円となりました。これは主に、未払金、短期借入金の減少等によるものです。固定負債は60,690千円増加し、358,588千円となりました。これは主に、その他固定負債に含まれる繰延税金負債の増加によるものです。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ128,121千円減少し、1,028,964千円となりました。

純資産は、配当により剰余金が減少したもののその他有価証券評価差額金が増加したこと等により前連結会計年度末と比べ47,884千円増加し、6,030,060千円となりました。また、自己資本比率は84.0%となりました。



（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

与信管理サービス事業は、与信判断ツールである「e-与信ナビ」や反社チェックに関連するサービスの利用が順調に推移しております。また、前期末に2022年6月から約3年続いた株式会社東京商工リサーチとの一連の訴訟が終局的に解決し事業環境が改善したことから、他社とのサービス連携やアライアンスを加速することで、さらなる会員数の増加やサービスの浸透度を深め、利用促進に力を入れてまいります。引き続きサービスと独自データベースの拡充・増強も継続してまいります。

ビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）につきましては、5月に実施した料金改定とディスク利用料増加により増収基調を維持し、仕入価格の上昇を吸収します。また、今後も引き続き、ビジネスツールとの連携を進め、会員の利便性と利用促進を推進し、会員数と利用料の増加につなげてまいります。

教育関連事業につきましては、引き続きコンテンツの充実化を進めること、あらためて当社サービスの優位性と特長を打ち出し、競合との差別化を進めること、代理店を活用すること等で会員数の増加と利用を促進してまいります。

BPOサービス事業につきましては、新規の見込み案件を確実に受注すること、外注先管理の強化、採算管理の徹底、AIを活用した業務効率化を図るとともに、引き続き独自データベースの増強、メンテナンス等グループのコスト削減に貢献してまいります。

通期の業績予想に対する当第1四半期連結累計期間の進捗といたしましては、ほぼ当初の予定どおりに推移しており、現時点において業績予想の変更はございません。

なお、この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後、市場環境の変化や業績の推移等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2026年3月期予想	3,900	380	380	210
2025年3月期実績	3,728	263	289	△49
前連結会計年度比（%）	104.6	143.9	131.1	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,225,736	1,640,959
受取手形、売掛金及び契約資産	460,340	467,851
原材料及び貯蔵品	10,287	10,370
差入保証金	740,000	—
その他	142,559	151,801
貸倒引当金	△11,711	△11,717
流動資産合計	2,567,213	2,259,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	588,914	589,191
減価償却累計額	△214,750	△219,024
建物及び構築物（純額）	374,163	370,166
工具、器具及び備品	306,074	311,185
減価償却累計額	△253,391	△256,069
工具、器具及び備品（純額）	52,682	55,115
土地	568,352	568,352
リース資産	16,866	16,866
減価償却累計額	△6,313	△7,157
リース資産（純額）	10,552	9,708
有形固定資産合計	1,005,751	1,003,344
無形固定資産		
のれん	62,764	60,309
ソフトウェア	1,096,263	1,143,892
コンテンツ資産	786,622	827,037
その他	92,597	75,702
無形固定資産合計	2,038,248	2,106,941
投資その他の資産		
投資有価証券	1,387,142	1,556,553
その他	141,349	133,403
貸倒引当金	△442	△482
投資その他の資産合計	1,528,049	1,689,474
固定資産合計	4,572,049	4,799,760
資産合計	7,139,262	7,059,025

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	315,754	224,548
短期借入金	350,100	233,400
未払法人税等	40,947	19,023
賞与引当金	3,511	1,694
その他	148,874	191,710
流動負債合計	859,188	670,376
固定負債		
退職給付に係る負債	30,734	31,785
その他の引当金	18,257	18,082
その他	248,906	308,720
固定負債合計	297,898	358,588
負債合計	1,157,086	1,028,964
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,188,168	1,188,168
資本剰余金	813,643	813,643
利益剰余金	3,196,694	3,128,289
自己株式	△96,562	△96,562
株主資本合計	5,101,944	5,033,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	757,236	873,743
為替換算調整勘定	22,639	21,115
その他の包括利益累計額合計	779,876	894,859
新株予約権	5,593	7,073
非支配株主持分	94,760	94,588
純資産合計	5,982,175	6,030,060
負債純資産合計	7,139,262	7,059,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	868,886	917,460
売上原価	485,409	501,937
売上総利益	383,476	415,523
販売費及び一般管理費	369,704	352,325
営業利益	13,772	63,198
営業外収益		
受取利息	23	265
受取配当金	11,020	12,040
投資事業組合運用益	4,048	—
その他	716	1,253
営業外収益合計	15,808	13,560
営業外費用		
支払利息	233	1,264
投資事業組合運用損	—	1,368
為替差損	1,593	—
その他	6,942	857
営業外費用合計	8,769	3,490
経常利益	20,811	73,267
税金等調整前四半期純利益	20,811	73,267
法人税、住民税及び事業税	18,106	16,773
法人税等調整額	△4,299	12,910
法人税等合計	13,807	29,684
四半期純利益	7,004	43,583
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,163	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,840	43,550

四半期連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	7,004	43,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,205	116,781
為替換算調整勘定	2,425	△2,005
その他の包括利益合計	66,630	114,776
四半期包括利益	73,635	158,359
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,585	158,532
非支配株主に係る四半期包括利益	5,050	△172

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人会員向けビジネス			BPO サービス	計				
	与信管理 サービス	ビジネスポ ータルサイ ト（グルー プウェアサ ービス等）	教育関連						
売上高									
ASP・クラウド サービス	380,274	139,737	—	—	520,012	—	520,012	—	520,012
コンサルティング サービス	71,094	—	—	—	71,094	—	71,094	—	71,094
その他	—	8,125	54,875	194,435	257,435	20,343	277,779	—	277,779
顧客との契約から生じ る収益	451,369	147,863	54,875	194,435	848,543	20,343	868,886	—	868,886
外部顧客への売上高	451,369	147,863	54,875	194,435	848,543	20,343	868,886	—	868,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	644	938	1,460	35,448	38,491	58,668	97,159	△97,159	—
計	452,013	148,801	56,336	229,883	887,034	79,011	966,046	△97,159	868,886
セグメント利益又は損失 (△)	23,861	52,680	9,054	△3,783	81,812	△5,326	76,486	△62,714	13,772

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人会員向けビジネス			BPO サービス	計				
	与信管理 サービス	ビジネスポ ータルサイ ト（グルー プウェアサ ービス等）	教育関連						
売上高									
ASP・クラウド サービス	394,363	144,822	—	—	539,186	—	539,186	—	539,186
コンサルティング サービス	74,240	—	—	—	74,240	—	74,240	—	74,240
その他	—	8,020	44,906	226,371	279,298	24,735	304,033	—	304,033
顧客との契約から生じ る収益	468,604	152,843	44,906	226,371	892,725	24,735	917,460	—	917,460
外部顧客への売上高	468,604	152,843	44,906	226,371	892,725	24,735	917,460	—	917,460
セグメント間の内部 売上高又は振替高	607	926	1,424	39,100	42,059	47,473	89,532	△89,532	—
計	469,212	153,770	46,330	265,471	934,785	72,208	1,006,993	△89,532	917,460
セグメント利益又は損失 (△)	71,156	44,924	2,073	10,316	128,470	△7,065	121,404	△58,206	63,198

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	181,567千円	170,710千円
のれんの償却額	2,455	2,455

3. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	244,339	885,596
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△407,040	△242,087
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△116,260	△227,527
現金及び現金同等物に係る換算差額	△928	△759
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△279,890	415,222
現金及び現金同等物の期首残高	1,722,763	1,125,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,442,873	1,540,959

前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 20,811 減価償却費 181,567 売上債権の減少額 19,319 未払金の増加額 19,064 法人税等の支払額 △42,093 ※2 無形固定資産の取得による支出 △209,897 投資有価証券の取得による支出 △99,804 定期預金の預入による支出 △100,000 ※3 配当金の支払額 △107,857	主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 73,267 減価償却費 170,710 未払金の増加額 19,753 供託金の返還による収入 740,000 訴訟関連損失の支払額 △109,128 法人税等の支払額 △32,377 ※2 無形固定資産の取得による支出 △237,627 定期預金の払戻による収入 100,000 定期預金の預入による支出 △100,000 ※3 配当金の支払額 △109,259 短期借入金の返済による支出 △116,700